

不動産コンサルティングプラス PLUS



読者アンケートへの回答で

『不動産データブック 2026 -不動産を科学する-』

を抽選で**30**名様にプレゼント!

詳しくは48ページへ。

No. **15**

2026.7



地域の未来を紡ぐ 「地域価値共創のコンサルティング」

全国フォーラム2026開催

優良事例をはじめて国土交通省局長表彰

今回のフォーラムでは、不動産コンサルティング事例表彰として、はじめて「国土交通省 不動産・建設経済局長賞」を授与しました。また、受賞者による表彰事例のプレゼンテーションも実施しました。

優秀賞【国土交通省 不動産・建設経済局長賞】 3 事例

「賃貸住宅の長期活用による資産価値最大化」

「異なる相続課題を抱えた二つの再建築困難不動産の一体的解決事例」

「築60年の老朽化した木造アパートをユニークなセーフティネット住宅として再生」

下田 晃大 氏
堀田 直宏 氏
松尾 重信 氏

優秀事例賞【理事長賞】 3 事例

「認知症の不安…82歳のオーナーと家族が選んだ相続のカタチ」

「住都公団分譲団地内に存するショッピングセンターについて」

「REDO 神保町-古書の街でどんな企画を？再生のプロフェッショナルたちの協力体制」

加藤 勉 氏
亀卦川 宏 氏
高橋 寿太郎 氏

特別賞

(株)市萬



(前列左から) 松尾 重信氏、西島 昭氏 ((株)市萬 代表取締役)、亀卦川 宏氏、楠田 幹人氏 (国土交通省 不動産・建設経済局長)、坂本 久 (当センター 理事長)、下田 晃大氏
(後列左から) 堀田 直宏氏、加藤 勉氏、高橋 寿太郎氏

優秀賞

詳細は本誌6月号に掲載

築60年の老朽化した木造アパートをユニークなセーフティネット住宅として再生

松尾 重信 氏／(株) コモンパークス

■ 入居者の「弱み」を「強み」に変えるシェアハウス

長年空き家だった大阪市の木造2階建て「文化住宅」を他社に買い取ってもらい再生させたのが、60歳以上のシニア女性と日本で働く外国人女性が支え合って暮らすシェアハウス「コモンフルール」です。

賃貸市場で敬遠されがちな高齢者と外国人ですが、本プロジェクトでは「共生」によって、その課題を解決しました。シニアが日本語を教え、外国人が生活を手伝うなど、互いに強みを活かして支え合う自然な相互扶助が生まれています。この事業は産学連携のチームで推進され、国土交通省のモデル事業にも採択。

オープンから5年が経ち、これまでの入居者数はシニア6名と外国人22名（8カ国）にものぼります。外国人と日本人の温かいコミュニティが育っています。



外国人入居者と交流会参加者の心温まる交流の様子

高齢者と外国人が支え合って暮らすシェアハウス



【6月号の主な内容】

- ▷ 2025年問題とアクティブシニア
- ▷ 国土交通省のモデル事業応募と事業コンセプト構築
- ▷ 共生のための適度な距離感と開き方とは
- ▷ 産学連携のチームがもたらした協働の強み
- ▷ 入居者間トラブルを未然に防ぐ仕組み

今後も本誌は、不動産コンサルティング業務の普及・定着に向けて、皆さまの業務の参考となるような事例を紹介してまいります。

常時、下記サイトにてコンサルティング事例を募集しております。積極的なご応募をお待ちしております。

(「不動産コンサルティングプラス」編集部)

▼不動産コンサルティング事例募集サイト

<https://www.retpc.jp/hq-reconsul/case/entry/>



事例を募集します。



(公財)不動産流通推進センター発行
『不動産コンサルティングプラス』7月号
2026年7月1日発行